

## 第三者評価結果報告書

総 括	
対象事業所名	オハナ鶴ヶ峰保育園
経営主体(法人等)	社会福祉法人 葵友会
対象サービス	児童分野 保育所
事業所住所等	〒241-0022 横浜市旭区鶴ヶ峰2-30-1
設立年月日	平成24年4月1日
評価実施期間	平成31年2月～令和1年9月
公表年月	令和1年11月
評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部
評価項目	横浜市版
<b>総合評価（事業所の特色や努力、工夫していること、事業者が課題と考えていること等）</b>	
<p><b>【施設の特色】</b></p> <p>・立地および施設の概要</p> <p>オハナ鶴ヶ峰保育園は、相鉄本線鶴ヶ峰駅から徒歩2分、園の裏には大きな親水公園や緑道、隣には畑もある自然や緑豊かな環境にあります。また、近隣には駅前商店街があります。</p> <p>運営法人は社会福祉法人葵友会で、園は2012年4月に定員45名の認可保育園として開園しました。2015年4月から定員を84名に変更し、現在0～5歳児83名が在籍しています。</p> <p>園舎は木造2階建てで、196平方メートルの園庭があります。1階は中央部分に中庭を備え、各保育室、給食室と事務室があり、2階には相談室と職員室があります。横浜市の「よこはまECO保育所」の認証を受けています。</p> <p>・園の特徴</p> <p>園の保育理念は「オハナは家族 みんなが居心地の良い場所に」で、「オハナ」はハワイ語で「家族」を意味し、子ども主体の家族のような保育を目標としています。給食に対する取り組みに力を入れており、食育年間計画を立て、保育士と栄養士、看護師などが連携して子どもたちの成長を支えています。また、野菜の栽培やクッキング、栄養指導など、子どもが食に関心を持てる時間を多く取り入れています。一時保育、産休明け保育、障がい児保育も行っています。</p> <p><b>【特に優れていると思われる点】</b></p> <p>1. 保育方針や園目標の達成に向けた、職員の意識統一</p> <p>職員が、保育方針や園目標を共通理解し、意識統一して保育にあたることを大切にしています。年度初めには、「オハナ鶴ヶ峰保育園の心得」と「職員行動指針」を全職員に配付して読み合わせ、園長が理念・方針・園目標などについて説明して、意識の統一を図っています。職員は、会議などで、子どもや保護者に関わるときに大切な視点や方針について振り返り、理念に沿って行われているかを確認しています。さらに、職員一人一人の年間目標、月間目標を決め、職員会議で話し合い、反省しながら次月の目標を立て、日々の保育に臨んでいます。</p> <p>2. 工夫した園庭環境で主体的に遊ぶ子どもたち</p> <p>園庭は196平方メートルで、子どもたちが自分で考えたり自ら挑戦したりできる環境を工夫しています。0歳児から乗れるブランコや横に並んで滑れる木製のすべり台、クライミングヒルなど、自分の力に挑戦しながら発達を促す固定遊具などを備えています。粘性の強い山砂とさらさらの川砂の感触の違いを体験できる砂場や、じゃぶじゃぶ池などもあります。</p> <p>子どもたちは、園庭の斜面を上がったり下がったりして遊んでいます。クライミングヒルでは突起に手や</p>	

足をかけて登り降りしています。すべり台では腹ばいになって滑り降りたり、砂場では、友達と一緒にスコップで容器に砂を詰めて運んだり砂山を作るなど、子どもたちは思い思いに遊んでいます。夕方のお迎え前は保育士が見守る中、子どもたちは園庭に出て、友達と一緒に固定遊具を使ったり、虫をさがしたり一人で草花を摘んだりして探索活動をするなど、自由に遊んでいます。

### 3. 保護者に子どもの様子を伝えるための保育の可視化

日常の保育の様子を、ドキュメンテーション（保育活動の写真に子どものつぶやきやコメントを付けたもの）として、クラスごとに掲示し、ブログにも掲載しています。また、一週間の活動を、簡単にまとめて掲示しています。職員は、子どもの声に耳を傾け、子どものつぶやきをキャッチすることを意識し、そのときどきの子どもの姿を保護者に伝えていきます。子どもたちの様子はビデオでも撮影し、クラス懇談会などで上映しています。利用者家族アンケートでは、「園の様子や行事に関する情報提供について」が92%と高い満足度（満足とやや満足の合計）を得ています。

#### 【特に改善や工夫などを期待したい点】

#### 1. 育児相談の受け入れ方や記録の整備

園見学や行事参加、交流保育などの際には、育児相談にに応じていますが、地域の保護者などに向けた定期的な育児相談日は設定していません。定期的に相談日を設けたり、相談内容を記録として整備するなど、今後、園としての方向性を検討していくことが望まれます。

#### 2. 保護者の自主的な活動への支援の検討

現在、保護者からの要望がないため保護者の自主的な活動はおこなわれていません。今後は、園の地域子育て支援での経験を生かし、保護者同士が気軽にコミュニケーションがとれる場の提供や、保護者同士が繋がりを持てるような活動への支援について検討することが期待されます。

### 評価領域ごとの特記事項

#### 1. 人権の尊重

- ・保育理念「オハナは家族 みんなが居心地の良い場所に」、保育方針「ゆっくり大きくなろう あたたかいところと えがおでいっぱい」は、利用者本人を尊重したものとなっています。基本理念や保育方針は、年度初めに全職員で読み合わせ、中途入職者には園長から説明して周知を図っています。
- ・職員は子どもの目線に合わせ、子どもの年齢や発達に応じたわかりやすい言葉で、おだやかに話すように努めています。子どもに注意をしなければならないときには、どのように行動すれば良かったのかを伝え、子どもが自分で考えるように言葉を選んでから話すようにしています。
- ・園内研修で子どもとの関わり方の見直しや振り返りを行い、子どもに対しての言葉遣いや対応について職員会議などでも取り上げ、日ごろから気にかけて保育を行っています。「職員心得」には「子どもの羞恥心への配慮をする」と明記し、子どもを激しく叱ったり、心を傷つけるような対応をしてはならないことを、職員に周知しています。
- ・子どもが友達や職員の視線を意識しないで過ごせる場所として、パーテーションを使ったコーナーやエントランスの絵本コーナーなどがあり、必要に応じて、1階事務所やエントランスも使用できます。また、幼児用トイレには扉があり、シャワーや沐浴の際には、カーテンや仕切りを使用しています。
- ・虐待防止マニュアルがあり、職員は言動も含めた虐待の内容、チェック方法、対応、連絡方法などを確認し、虐待が明白になったり疑われる場合は、横浜市西部児童相談所や旭区福祉保健センターに通告し相談する体制を整えています。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・守秘義務については、入職時オリエンテーションなどで園長が全職員に説明し、個人情報保護に関する誓約書の提出を受けています。保護者には入園説明会で説明し、同意書を提出してもらっています。個人情報に関する書面や記録データは、施錠できる棚で保管・管理しています。</li> <li>・遊びや行事の役割、服装などで性別による区別はせず、劇ごっこの役や衣装、製作の紙なども自由に選べるようにしています。職員は、子どもや保護者に対して、役割を固定的にとらえた話し方をしないようにし、職員会議などで対応を共有しています。</li> </ul>
<p><b>2.意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おもちゃや絵本などは低い棚に置き、写真を貼ったり、かごに小分けして子どもが取り出しやすくし、子どもの年齢や発達に合わせて随時入れ替えをしています。</li> <li>・棚や仕切り、マットなどでコーナーを分け、キッチンコーナーや絵本コーナーを作り、子どもたちが落ち着いて遊べるようにしています。作りかけのブロックは、継続して遊べるように置き場所を確保しています。</li> <li>・戸外や室内遊びの中で、リズム、ドッジボール、鬼ごっこなどルールのある遊びを取り入れ、遊びを通じてルールを守ることや友達関係にもルールがあることを伝えています。また、散歩などでは交通ルールを伝えています。</li> <li>・園庭には木製のすべり台やクライミングヒルがあり、子どもが自分の力に挑戦しながら発達を促す固定遊具で遊んだり、公園などではゲームや追いかっこを取り入れています。室内では、マットや楽器、ボールなどを組み合わせたサーキットコースやリズム遊びを取り入れています。</li> <li>・職員は、子どもの好き嫌いやその日の体調を把握し、残さず食べることを強制せず、初めて食べるメニューや苦手なものは量を調節して提供しています。職員は子どもが食べようとする意欲や行動を大切に、食べたことや食べようとしていることを褒めています。</li> <li>・給食は手作りで、家庭の味、薄味を心がけ、献立には季節の食材を使用しています。行事食、郷土料理の日、おばんざいの日などを取り入れ、栄養士が料理の説明をし、行事食などでは、子どもたちが見て楽しめるように特別な盛り付けの工夫をしています。</li> <li>・午睡時には、保育室のレースのカーテンを引いて明かりを暗くし、子どもが安心して眠れるように職員がそばにつき、眠くない子どもには布団の上で横になり、ゆっくりしているように伝えています。また、乳幼児突然死症候群対応マニュアルに沿って子どもの様子を見守り、0、1歳児には呼吸チェックをして記録しています。</li> <li>・0、1歳児クラスは排泄チェック表を使用し、職員は子どもの排泄の間隔や回数などを把握してトイレに促しています。トイレトレーニングでは、一人一人の発達状況を把握しながらトレーニングパンツに移行し、園での排泄状況は連絡帳に記載して、保護者と情報交換しています。</li> </ul>
<p><b>3.サービスマネジ</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園前に保護者と子どもに面接し、子どもの様子や親子の関わりについて観察して、園の新しい環境でどのように対応していくのか検討しています。</li> <li>・園長から保護者に、短時間保育の必要性について説明し、保護者の就業状況や子</li> </ul>

## メントシステムの 確立

どもの様子に応じて柔軟に実施しています。

- ・入園後の成長の様子は、0～2歳児は毎月、3歳児以上は3か月ごとに発達記録に記録しています。健康に関する事項は保健記録表に記録し、入園時の情報とともに個人別にファイルしています。これらの記録は、事務所の決められた場所に保管し、職員は必要に応じて閲覧しています。

- ・配慮が必要な子どもについては、毎月クラス会議で対応を振り返り、障がいの特性を考慮した個別指導計画を立て、職員間で情報を共有しています。職員は、横浜市こども青少年局などの研修を受け、障がいのある子どもが他の子どもと関わりが持てるよう仲立ちするなど、保育に生かしています。

- ・健康管理、衛生管理、感染症対策などの各種のマニュアルに基づき、子どもたちの健康状態の把握や健康診断・歯科健診の受診や感染症対策などを実施しています。

- ・事故や災害に備え避難誘導訓練や緊急連絡体制の確認をするとともに、年2回子どもたちと一緒に不審者対応訓練を行っています。玄関はオートロックの電子錠で施錠し、防犯カメラを設置して不審者の侵入防止策を施しています。

- ・苦情の申し出は、入園説明会で、園の苦情受付窓口のほかに苦情解決第三者委員会や権利擁護機関へ直接申し立ての方法があることを説明し、玄関に掲示しています。

- ・意見箱を置き、懇談会や行事の際はアンケートを実施して保護者の要望や苦情の把握に努めています。要望や苦情の内容は記録し、対応や結果について職員会議などで職員に周知し、今後の取り組みに生かしています。

- ・子どものケガは、状況や経過を保護者に伝え、内容は申し送りで全職員に周知しています。事故やインシデントについては、内容やその後の対応などを詳細に記録し、職員会議などで問題点を話し合い、改善策を実行しています。

## 4.地域との交流・連携

- ・園の情報は設置法人ホームページやブログ、園の外掲示板、旭区子育て広場ほけっとや旭区地域子育て支援拠点ひなたぼっこに提供しています。園見学者には園長がパンフレットに基づいて基本方針や利用条件、保育内容などを説明しています。

- ・地域の自治会に加入し、園行事の夏のお祭りなどには地域の方や園見学、交流保育、育児講座などに参加した保護者や子どもたちを招いています。また、食育集会には旭区食生活等改善推進員の人形劇、育児講座には旭区紙芝居ボランティアを招き、定期的に交流を図っています。

- ・旭区認可保育園等が開催する育児イベント「あさひ子育て・保育園ひろば」、鶴ヶ峰地区ケアプラザで開催する育児講座「親子であそぼう」や「かるがもサロン」に、園長、職員が参加し、パネルシアターや手遊びの提供、育児相談等の子育て支援を行っています。


- ・園では定期的に相談日を設けた育児相談は行っていませんが、園行事や育児講座などに参加した地域の保護者の相談に応じています。地域の子育て世代が利用しやすいように、育児相談への対応を検討することが望まれます。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の隣の畑では、3R夢農園プロジェクトとして、旭区地域振興課の職員と一緒に、園の残食から作った生ゴミブレンド土を使ってさつまいもを栽培しています。</li> </ul>
<p><b>5.運営上の透明性の確保と継続性</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が順守すべき法律や行動規範は「就業規則」「職員行動指針」「心得」に明文化され、入職時研修やオリエンテーションで職員に説明しています。</li> <li>・運営法人の経営や運営情報は、ホームページで詳細を公開し、運営法人から職員に向けた業務への取り組み姿勢や注意事項などの書面は職員も閲覧して、他園の事例のなかで必要なことは職員会議で話し合っています。</li> <li>・園長は、理念方針について、職員の理解を促すために、年度初めや会議の際にわかりやすく説明をしています。園の課題は、職員会議で話し合って職員と共通認識を持ち、質の向上に取り組んでいます。</li> <li>・重要な事項を決定する場合は、園長が保護者と懇談会で意見交換し、アンケートも実施しています。運動会の実施方法は保護者と継続的に意見交換しています。</li> <li>・園の重点項目として、令和元年度は「ドキュメンテーション・異年齢保育・地域との交流・保護者との関わり・給食への取り組み」を今年度の事業計画として定め、地域支援の拡充などの保育所運営について取り組んでいます。</li> </ul>
<p><b>6.職員の資質向上の促進</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営法人では職階別に必要な知識や経験、業務遂行能力などについての「人材育成計画」を定め、キャリアアップ研修や一般研修など年間を通じた研修計画を作成しています。</li> <li>・職員は資質向上の目標を設定し、結果について年2回園長と面談し、評価や次年度の目標について話し合っています。</li> <li>・主任が年間を通じて研修計画を立て、職員が外部研修や希望する研修に参加できるようにしています。</li> <li>・指導計画などには評価反省欄があり、職員は、ねらいや具体的目標に沿っていたかどうかや子ども一人一人の成長に応じた関わりや配慮ができているかを自己評価して結果を記入し、それぞれの課題を次期の計画に反映しています。</li> <li>・園の自己評価は毎年実施しています。職員がクラスミーティングや職員会議で話し合って今年度の課題を明確にし、反省や評価を行っています。自己評価結果は、玄関に掲示しています。</li> <li>・保育業務は、クラス担任（常勤職員）と副担任（非常勤職員）の組み合わせで行い、主任、乳児リーダー、幼児リーダーがそれぞれ非常勤職員の担当として、連絡、相談や必要に応じ面談を行っています。</li> <li>・非常勤職員も、必要な知識・技能の習得、情報の収集については常勤職員と同様に対応し、勤務形態の違いで参加できない場合は、報告書などで伝えています。</li> <li>・実習生の受け入れ時は、希望や目的を把握して実習内容やクラスを決めています。毎日クラス担任と反省会を行い、最後に園長や主任なども参加して全体での反省会を行い、内容を記録・整備し、職員の気づきや保育業務の参考にしています。</li> </ul>



## 評価機関による評価




令和1年8月1日


### 事業所名 オハナ鶴ヶ峰保育園

 3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある


#### 評価領域Ⅰ 子ども本人の尊重

評価分類	評価の理由（コメント）
<b>I-1</b> 保育方針の共通理解と全体的な計画等の作成 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育理念「オハナは家族 みんなが居心地の良い場所に」保育方針「ゆっくり大きくなろう あたたかいところと えがおでいっぱい」は、利用者本人を尊重したものとなっています。基本理念や保育方針は、年度初めに全職員で読み合わせ、中途入職者には園長から説明して周知を図っています。</li> <li>・保護者に、基本理念や保育方針を記載した入園のしおりを配付するとともに、入園説明会で説明しています。全体的な計画や指導計画については、入園説明会やクラス懇談会で説明しています。</li> <li>・全体的な計画は、保育所保育指針に沿って、全職員からの意見を参考にし、園長が作成しています。</li> <li>・年齢ごとの指導計画は、クラスの様子や月齢に配慮して作成しています。職員は子どもの「なぜ」「どうして」や子どもが納得して行うことを大切にしています。</li> <li>・職員は、子どもにわかりやすい言葉で丁寧に伝え、子どもの気持ちをくみ取り、子どもと一緒に考えるように努めています。</li> <li>・週案の活動には園庭や公園遊びを設定し、遊びは子どもたちが自由に選べるようにするなど、子ども主導の遊びを取り入れて柔軟性を持たせています。</li> </ul> <p>&lt;工夫している事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が理念や方針を理解して保育を行えるように、「オハナ鶴ヶ峰保育園の心得」と「職員行動指針」を全職員に配付して読み合わせなどを行っています。</li> </ul>
<b>I-2</b> 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園前に保護者と子どもに面接し、子どもの様子や親子の関わりについて観察して、家庭での過ごし方や、一人一人の生活のリズムの把握に努めています。</li> <li>・面接を通じて把握した情報は個人別にファイルし、職員間で情報を共有し、園の新しい環境でどのように対応していくのか検討しています。</li> <li>・保護者に短縮保育の必要性を説明し、保護者の就業状況や子どもの様子に応じて柔軟に実施しています。</li> <li>・0、1歳の新入園児に主に関わる職員を決め、連絡帳で園の保育や家庭の様子を伝え、連携を図っています。</li> <li>・在園児の担任は原則として持ち上がりで、新しい環境に慣れるまでは、新入園児と在園児が分かれて過ごす時間も設けています。</li> <li>・指導計画は、全体的な計画に基づき職員会議やミーティングで話し合い、子どもの様子や発達状況を考慮して作成しています。また、非常勤職員、看護師、栄養士の意見や保護者の意向も反映して評価、改訂し、園長と主任が確認しています。</li> <li>・0歳児クラスは、表情や動作から子どもの気持ちをくみ取り、声をかけながら一人一人のペースに合わせ、落ち着いた環境で授乳やオムツ交換、午睡などができるようにしています。</li> <li>・1歳以上3歳未満児のクラスは、戸外の鬼ごっこや室内のリズム遊びや巧技台など、発達に応じて動きを楽しむ環境を整えています。職員は、やってみようとする気持ちを褒めながら、子どもが自分でできないところを援助しています。おもちゃや遊びの順番などでトラブルになったときは、職員が子ども同士のやりとりを見守り、気持ちを代弁しながら仲立しています。</li> <li>・3歳児は、遊びやゲームなどの集団遊びを、友達と一緒に楽しみながら行ってい</li> </ul>


	<p>ます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4歳児は、劇の役割について子どもたちで考えたり、みんなで合奏する活動を取り入れています。</li> <li>・5歳児は、自分の考えを発表し合って、自分たちで劇の振り付けを決めたり練習したりしています。合奏では楽器を持ち寄り、協力して一つのハーモニーを奏でる経験をしています。全体的な計画や5歳児の指導計画に「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を掲げています。</li> <li>・園長は、遊びや行事の中で友達と力を合わせることの大切さ、文字や言葉への興味、音楽や表現する楽しさ、健康への関心などが身につく環境設定や援助が出来ているかを、職員会議や年2回の職員面談の際に確認しています。</li> </ul>
<p><b>I-3</b> 快適な施設環境の確保</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の内外は毎日清掃し「掃除チェックリスト」に記録しています。トイレは毎日掃除と消毒を行っています。</li> <li>・各保育室には外庭と中庭に面した窓があり、窓を開け採光や換気に努めています。保育室には24時間換気設備があり、温度・湿度計と加湿空気清浄機を設置し快適な環境を保っています。室内での保育士の話し声や音楽の音量は、状況に応じて必要な程度に押さえています。</li> <li>・0歳児クラスに沐浴設備があり、0歳児クラス、1、2歳児クラス、幼児クラスと中庭、園庭には温水シャワーがあります。沐浴設備や温水シャワーは毎日掃除して、使用後は殺菌消毒剤による消毒も行っています。</li> <li>・0～2歳児の保育室は、状況に応じてパーテーションや柵で区切り、少人数のグループで落ち着いて遊べるようにしています。</li> <li>・各クラスとも食事の場所とは別に午睡のスペースを確保しています。</li> <li>・エントランスや各保育室には絵本コーナーがあり、異年齢の子どもたちが関われる場所となっています。</li> </ul>
<p><b>I-4</b> 一人一人の子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・0～2歳児と3歳児以上で特に配慮が必要な子どもについては、発達に合わせて月間個別指導計画を作成しています。個別指導計画は、担任とリーダーが話し合って作成し、必要に応じて変更し園長・主任の確認を受けています。</li> <li>・離乳食やトイレトレーニングなどについては保護者の同意を得て計画に取り入れ、家庭と連携して進めています。送迎時や連絡ノート、個別面談で情報を交換しています。</li> <li>・入園後の成長の様子は、0～2歳児は毎月、3歳児以上は3か月ごとに発達記録に記録しています。健康に関する記録は、保健記録表に記録しています。</li> <li>・記録は入園時の情報とともに個人別にファイルし、事務所の決められた場所に施錠して保管し、職員は必要に応じて閲覧できます。</li> <li>・進級時に担任が変わる場合は、個人面談報告書、発達記録などを基に、年度内に担任から次年度の新担任に引き継ぎを行っています。</li> </ul>
<p><b>I-5</b> 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に配慮が必要な子どもについて、毎月、クラス会議で配慮や対応について振り返りを行い、記録しています。</li> <li>・職員が横浜市こども青少年局などの外部研修で得た最新情報を園内研修で共有し、保育に生かしています。クラス会議、発達経過記録、研修報告、関連マニュアルはまとめてファイルし、必要な場合はいつでも見ることができます。</li> <li>・保育室内や廊下は段差がなく、玄関はスロープになっており、多目的トイレを備えています。また、障がい特性に応じた一人で落ち着ける環境を作っています。</li> <li>・障がいのある子どもの特性に考慮した個別指導計画を立て、職員間で情報を共有しています。</li> <li>・職員は、障がいのある子どもが他の子どもと関わりが持てるよう仲立ちするなど、保育に生かしています。</li> <li>・虐待防止マニュアルがあります。職員は言動も含めた虐待の内容、チェック方法、対応、連絡方法などを確認し、虐待が明白になった場合や疑われる場合は、横浜市西部児童相談所や旭区福祉保健センターに通告し相談する体制を整えています。</li> <li>・アレルギーのある子どもには、かかりつけ医から「生活管理指導表」の提出を受け、マニュアルに基づき、保育士、栄養士などが連携して対応しています。</li> </ul>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事面では、除去食を提供し、毎月、除去食の献立表を事前に保護者に配付し、確認してもらっています。配膳時は専用のトレイや食器、名札を使用し、栄養士と保育士が互いに確認し、誤食がないよう対応しています。</li> <li>・外国籍や帰国子女を受け入れる場合は、文化や生活習慣について聞き、宗教食など園での給食に対応が必要な場合は運営法人と相談して提供する体制があります。</li> <li>・5歳児クラスには地球儀を置き、いろいろな国や文化があることを伝えています。給食で日本の郷土料理や世界の料理を提供し、国や文化の説明をしています。</li> </ul>
<b>I - 6</b> <b>苦情解決体制</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園説明会で、苦情受付窓口、苦情解決第三者委員会への直接申し立てや権利擁護機関への申し立てなどを入園のしおりに記載して説明し玄関に掲示しています。</li> <li>・「苦情解決の取り組みに関する実施事項」を策定しています。玄関に意見箱を置き、懇談会や行事の際にアンケートを実施して保護者の要望や苦情の把握に努めています。</li> <li>・子どもの気持ちは表情や態度からくみ取り、保護者には送迎時に声をかけて、意向を引き出すようにしています。</li> <li>・要望や苦情があった場合は、園長や主任に伝えて記録し、対応や結果について職員会議などで職員に周知しています。苦情処理記録はファイルし、苦情対応など今後の取り組みに生かしています。</li> </ul>



## 評価領域Ⅱ 保育の実施内容


評価分類	評価の理由（コメント）
<b>Ⅱ - 1</b> <b>保育内容[遊び]</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おもちゃや絵本などは低い棚に置き、写真を貼ったり、かごに小分けして子どもが取り出しやすくしています。また、子どもの年齢や発達に合わせて随時入れ替えをしています。</li> <li>・棚や仕切り、マットなどでコーナーを分け、キッチンコーナーや絵本コーナーも作り、子どもたちが落ち着いて遊べるようにしています。作りかけのブロックは、継続して遊べるように置き場所を確保しています。</li> <li>・職員は子どもの発想を受け止め、集団活動につながるように援助しています。</li> <li>・戸外や室内遊びの中で、リズム、ドッジボール、鬼ごっこなどルールのある遊びを取り入れ、遊びを通じてルールを守ることや友達関係にもルールがあることを伝えています。散歩などでは交通ルールを伝えています。</li> <li>・遊びに入れない子どもには、職員が「一緒にやろうか」と声をかけたり、別の遊びに誘ったりしています。</li> <li>・園庭のプランターではオクラ、パプリカ、きゅうりなどの季節の野菜栽培やチューリップ、ひまわりなどを育てています。収穫した野菜はスタンプ遊びやクッキング、給食の材料にしています。</li> <li>・クラスで栽培している花や野菜、稲などの観察をし、記録しています。クラスごとにかたつむりやかぶとむしなどを飼育し、玄関先ではめだかを飼育しています。5歳児クラスでは、バケツで稲作りを行っています。</li> <li>・近隣の鶴ヶ峰公園や親水公園には自然が多くあり、探索を目的とした活動を取り入れ、自然に触れるようにしています。</li> <li>・0、1歳児クラスでは、自由に殴り書きができるように、机に紙を貼っています。0歳児では、保育士が歌を歌い、子どもが自分から体をゆすったり、手足を動かしたりできるよう援助しています。</li> <li>・子どもたちに危険がないよう子どもの年齢や発達の様子を見ながら、空き箱などの廃材を置き、色鉛筆や楽器なども自由に使える環境を整えています。</li> <li>・4、5歳児クラスでは、ハサミや折り紙、のりなどは、個別の引き出しに入れてあります。3歳児クラスは個別の箱があり、作りかけの作品などを入れてあります。5歳児クラスには郵便ごっこ用のポストを置き、4、5歳児が手紙を書いて投函しています。</li> <li>・子ども同士のけんかなどについては、職員が子どもに危険のないよう見守って、双方の気持ちを受け止めて代弁したり仲立ちしながら、できるだけ子ども同士で解</li> </ul>





	<p>決できるようにしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1、2 歳児の噛みつきなどの行動については年度初めのクラス懇談会で保護者に説明し、発達の中で起こることや園の対応について理解を得るようにしています。</li> <li>・異年齢児年間活動計画を作成し、異年齢保育を取り入れています。</li> <li>・職員は、日ごろから子どもの言葉や仕草に気を配り、目を見てわかりやすい言葉で伝え、声かけはボリュームを小さくし、子どものそばで話しかけるように努めています。</li> <li>・天気の良い日には、全クラスが毎日散歩に行き、散歩報告書に記録しています。</li> <li>・紫外線対策やアレルギーへの対処として、散歩や屋外活動の際にはたれ付き帽子を被っています。夏には園庭や中庭に日除けネットを設置し、手作りの虫よけスプレーや蚊取り器も使用しています。</li> <li>・園庭ではクライミングヒルや木製の滑り台で子どもが自分の力に挑戦しながら発達を促す固定遊具で遊んだり、公園などではゲームや追いかけっこを取り入れています。また、室内でもマットや楽器、ボールなどを組み合わせたサーキットコース遊びやリズム遊びを取り入れています。</li> <li>・子どもの既往症や健康状態に合わせ、休息の時間を設けたり、見学の時間を設けています。</li> </ul> <p>&lt;工夫している事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園庭には感触を楽しめるさらさらした川砂と泥団子などが作りやすい粘性の強い山砂の砂場を設置しています。0～2 歳児の砂場には川砂を入れています。</li> </ul>
<p><b>Ⅱ－1</b>  <b>保育内容【生活】</b>  </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は、子どもの好き嫌いや、その日の体調の把握をし、対応しています。</li> <li>・子どもが残さず食べることを強制することなく、初めて食べるメニューや苦手なものの量を調節して提供しています。職員は子どもが食べようとする意欲や行動を大切にして、食べたことや食べようとしていることを褒めています。</li> <li>・3～5 歳児の各保育室からは給食室の様子が見えるようになっています。</li> <li>・子どもの年齢に応じて、食事の配膳や片付けなどの当番活動やクッキング活動を取り入れています。年齢ごとの食育年間計画を作成して、野菜の栽培やクッキング活動などを行っています。栄養士がシルエットクイズや野菜に触れる機会を設けて栄養指導を行っています。</li> <li>・乳児の授乳は、子どもの様子を見ながらほしがるときに抱っこして、目を合わせながら与えています。授乳や離乳食は、子どものペースに合わせています。</li> <li>・献立には季節の食材を使用し、行事食、郷土料理の日、おぼんざいの日などを取り入れ、栄養士が説明をしています。行事食などでは、子どもたちが見て楽しめるように特別な盛り付けの工夫をしています。給食は、手作りで家庭の味、薄味を心がけています。</li> <li>・3～5 歳児クラスでは、テーブルに花を飾りランチョンマットを敷いて雰囲気作りをしています。おやつバイキングをしたり、お弁当の日には中庭や公園で食べたりしています。また、異年齢で活動してクッキングしたものをバイキング形式で食べるような工夫もしています。</li> <li>・食材は地域の商店から旬の野菜や魚を取り入れています。食器や食具は子どもの成長や発達に合わせたものを使用し、食器は強化磁器にしています。</li> <li>・栄養士は給食の時間に子どもたちの様子を見たり、情報を基に嫌いな食材もおいしく食べられるように工夫しています。</li> <li>・園長が検食し伝達事項などを記録し、残食は栄養士や調理員が把握し反省や工夫点を給食日誌に記載しています。献立は2週間ごとのサイクルメニューで、次に改善できるようにしています。</li> <li>・献立表は栄養士が作成し、月末に翌月分を配付しています。給食だよりを発行し、行事食の説明などを記載しています。</li> <li>・献立表には材料名を栄養分類して記載し情報提供をしています。給食のサンプルはエントランスに展示し、行事食や郷土料理などは文章やイラストで由来や内容を伝えています。また、レシピは毎月の献立から複数用意し、保護者が自由に持ち帰れるように書面で置いています。保育参加のときに、給食の試食の機会を設けてい</li> </ul>

	<p>ます。また、離乳食の試食も提供しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・午睡時には、保育室のレースのカーテンを引いて明かりを暗くし、0、1 歳児クラスでは子守歌を歌ったり、音楽を流したりしています。また、子どもが安心して眠れるように職員がそばについています。眠くない子どもには布団の上で横になり、ゆっくりしているように伝えています。</li> <li>・乳幼児突然死症候群対応マニュアルを作成し、職員はすぐに子どもに対応できるようにそばにつき、0、1 歳児には呼吸チェックをして記録しています。</li> <li>・5 歳児は就学を見据えて、1 月ごろから午睡を減らしています。午睡をしない子どもたちは、自由遊びや園庭遊び、ひらがなの練習などをして過ごしています。</li> <li>・0、1 歳児クラスは排泄のチェック表を使用しています。職員は子どもの排泄の間隔や回数などを把握してトイレに促しています。</li> <li>・トイレトレーニングでは、一人一人の発達状況を把握しながらトレーニングパンツに移行しています。年度末の1 歳児クラス懇談会で、トイレトレーニングの説明をしています。園での排泄状況は連絡ノートに記載して、お迎えの際にも保護者と情報交換しています。</li> <li>・「職員心得」には「子どもの羞恥心への配慮をする」と明記しています。子どもを激しく叱ったり、心を傷つけるような対応をしてはならないことを、職員に周知しています。職員は子どものおもらしには叱ることなく、励ますように心がけています。</li> <li>・長時間保育では、コーナーを分けてスペースを広く作り、一人一人が落ち着いて好きなことに遊び込めるようにしています。また、子どものペースで過ごせるようにして、スキンシップを図るようにしています。</li> <li>・昼の申し送りでその日の各クラスの情報共有をしています。申し送りノートとクラスノートに引き継ぎ事項を記入して全職員が確認し、伝達漏れのないように努めています。</li> </ul> <p><b>&lt;工夫している事項&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エントランスの給食のコーナーには、食育活動の様子をドキュメンテーション(子どもたちの活動の様子の写真や子どものつぶやき、コメントをまとめたもの)として掲示し、給食室への質問ボックスも設置しています。</li> </ul>
<p><b>Ⅱ－2</b>  <b>健康管理・衛生管理・安全管理</b>  <b>[健康管理]</b>  </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康管理に関するマニュアルに基づき、健康管理を行っています。既往症については、入園時の保健記録を1年ごとに保護者に更新してもらい、対応法を職員に周知しています。</li> <li>・園での子どもの健康状態の変化は、必要に応じて保護者に口頭で伝え、病院受診を勧めたり、降園後の対応を話し合っています。</li> <li>・食後の歯磨き指導は看護師が行い、5 歳児まで職員が仕上げ磨きを行っています。</li> <li>・健康診断と歯科健診はそれぞれ年2 回実施して、園児健康診断結果と歯科健康診査表に記録し、保護者にも報告しています。また、必要に応じて、結果の詳細を別の用紙で報告し、口頭でも伝えています。</li> <li>・健診前に保護者からの質問を受け付け、嘱託医からコメントをもらって保護者に伝えています。健診結果に基づき、園での対応などについて嘱託医や嘱託歯科医から助言を受けています。</li> <li>・保育園における感染症マニュアルを策定しています。マニュアルや入園のしおりには登園停止基準や対応を明記し、保護者に周知しています。</li> <li>・感染症発生の掲示物には感染症の症状やその後の対応も明記しており、発生したときはすぐにエントランスと各クラスに掲示し、保護者に情報提供しています。感染症流行時期などには、看護師がほけんだよりを発行し情報を提供しています。旭区保育園看護師会や園長会から感染症などの情報を得ています。</li> </ul>
<p><b>Ⅱ－2</b>  <b>健康管理・衛生管理・安全管理</b>  <b>[衛生管理]</b>  </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の衛生管理マニュアルと嘔吐物等の処理方法マニュアルを策定しています。マニュアルは年度末に見直しを行い、必要な変更をしています。</li> <li>・内部研修で嘔吐処理研修を行い、嘔吐処理セットを配置しています。</li> <li>・子どもの手洗いやうがいには看護師が指導しています。</li> <li>・マニュアルに基づいて、担当責任者を決めて毎日の清掃を行い、清掃チェックリ</li> </ul>


	<p>ストにチェックしています。園庭も園庭安全点検表があり毎日清掃しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・砂場の掘り起こしや消毒、布団乾燥や丸洗いを定期的に行っています。</li> </ul>
<p><b>II - 2</b>  <b>健康管理・衛生管理・安全管理</b>  <b>[安全管理]</b>  </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全管理・危機管理マニュアル、誘導訓練・緊急体制マニュアル、散歩マニュアル、プール安全マニュアル、ハザードマップなどを作成しています。1～3月にはマニュアルの見直し、4、5月に読み合わせを行い、全職員に周知しています。</li> <li>・災害計画、年間避難訓練計画、年間保健・安全計画を作成しています。職員は常に子どもの様子を見て、子どもの動きを把握するように努めています。</li> <li>・地震などの災害に備え、棚や家具には転倒防止の耐震マットを敷き、棚には滑り止めマットを使用しています。また、開扉留め具も使用しています。</li> <li>・緊急連絡網はメール配信システムを導入し、火災や地震など想定を変えた避難訓練を毎月実施しています。消火訓練は消防署職員にきてもらい訓練しています。</li> <li>・救急救命法は、年1回消防署職員による研修を実施し、全職員が消防職員からAEDの研修も受けています。園舎の外に防災倉庫を設置して、救急用品などを備蓄しています。</li> <li>・事故対応についてのマニュアルがあり、対応については全職員が把握しています。</li> <li>・保護者に緊急連絡先の提出をしてもらっています。</li> <li>・救急医療機関や区役所など地域の関係機関を分類してファイルでまとめています。</li> <li>・子どものケガについては、状況や対応、経過を保護者に伝えていきます。内容は申し送りでも全職員に周知して、クラスノートにも記載し、どの職員でも保護者に伝えられるようにしています。</li> <li>・事故については事故報告書に記録し、そのほかはインシデントにクラス名や発生場所、状況、今後の対応などを詳細に記録しています。事故やケガは職員会議などで改善点を話し合い、改善策を実行しています。</li> <li>・非常災害時・不審者への対応マニュアル、不審者対応例（散歩中）があります。年2回子どもと一緒に不審者対応訓練を行っています。</li> <li>・門は常時施錠し、玄関はオートロックの電子錠で施錠しています。開錠時はモニターで来訪者を確認しています。警備保障会社の防犯カメラを設置し、防犯ライトやフェンスを高くして不審者の侵入防止策を施しています。園内は24時間体制のセンサーカメラを設置し、不審者侵入や異常がある場合は警備保障会社に連絡が入るようになっていきます。</li> <li>・不審者情報は、旭区子ども家庭支援課や近隣保育園、旭警察署から情報を得られる体制があり、情報があつた場合は旭警察署に巡回パトロールを依頼しています。</li> </ul>
<p><b>II - 3</b>  <b>人権の尊重</b>  </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内研修で、子どもとの関わり方の見直しや振り返りを行っています。子どもに対しての言葉遣いや対応については職員会議などでも取り上げ、日ごろから気にかけて保育を行っています。子どもをせかすことがないように、子どもたちに次の行動や活動の終了時間を前もって知らせています。</li> <li>・職員は子どもの目線に合わせ、子どもの年齢や発達に応じたわかりやすい言葉で、おだやかに話すように努めています。子どもに注意をしなければならないときには、どのように行動すれば良かったのかを伝えたり、子どもが自分で考えるように職員が言葉を選んでから話すようにしています。職員は子どもの気持ちや発言を受け入れられるように、冷静に子どもを見守り寄り添うように努めています。</li> <li>・年度末や年度初めに「職員行動指針」や「職員心得」の読み合わせを行い、人権の尊重の意識を高めています。子どもの人格を尊重した保育を行うことを全職員が認識しています。</li> <li>・パーテーションを使ったコーナーやエントランスの絵本コーナーなど、子どもが友達や職員の視線を意識しないで過ごせる場所があります。また、必要に応じて、1階事務所やエントランスを使用できます。幼児用トイレには扉があり、シャワーや沐浴の際には、レースのカーテンや仕切りを使用しています。</li> <li>・守秘義務については、入職時オリエンテーションなどで園長が全職員に説明し、個人情報の取り扱いについてはガイドラインに明文化して全職員に周知しています。</li> </ul>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員や実習生、ボランティアから個人情報保護に関する誓約書を提出してもらっています。保護者には入園説明会で説明し、入園のしおりにも記載しています。保護者から重要事項説明確認書を提出してもらい、同意書としています。個人情報に関する書面や記録のデータは、施錠できる棚で保管管理しています。</li> <li>・遊びや行事の役割は性別で区別せず、劇ごっこの役や衣装、製作の紙などを自由に選べるようにしています。席やグループ、順番などは、背の順にしたり、声をかけたときに集まった子どもから並んだりしています。出席確認は生年月日順にしています。</li> <li>・子どもや保護者に対して、役割を固定的にとらえた話し方などをしないようにしています。職員が無意識に固定観念で保育をしないように、職員会議などで対応を共有しています。</li> </ul>
<p><b>Ⅱ－４</b>  <b>保護者との交流・</b>  <b>連携</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育方針などは、入園説明会やクラス懇談会で園長が説明しています。保護者には行事や保育参加後にアンケートを実施し、保育方針の理解の把握に努めています。</li> <li>・園のパンフレットには保育理念や保育目標を明記し、保育方針は環境、遊び、活動、食育などに分けてわかりやすく説明しています。</li> <li>・子どもの送迎時には、できるだけ担任がその日の子どもの様子を伝えるようにしています。また、保育日誌やクラスノートで情報共有して、ほかの職員でも対応できるようにしています。</li> <li>・連絡帳は全園児が持っていて、年齢ごとに書式や使用方法を変えて使用し、保護者と情報交換しています。</li> <li>・保護者の個人面談はクラスごとに複数日を予定し、事前に話したい内容を書面で提出してもらい、保護者の意向を踏まえて年1回、実施しています。</li> <li>・保護者の相談は、2階の相談室を使用しています。相談を受けた職員が、リーダー保育士や主任、園長から助言を受けられる体制があります。保護者の育児相談や要望、苦情は内容ごとに分けて記録し、継続的なフォローができるようにしています。</li> <li>・園だよりとクラスだよりを毎月発行しています。園だよりでは基本方針や保育方針を伝えています。</li> <li>・0～2歳児クラスは毎日連絡帳で保育の様子を伝え、3～5歳児クラスでは1日の活動の様子は、ドキュメンテーションにして掲示し、迎えの際に保護者が確認のサインをしています。ブログでも伝えています。</li> <li>・年2回のクラス懇談会を開催しています。年度初めは、クラスの1年間の過ごし方や目標を、年度末は1年間の結果や様子、次年度について伝えています。年度末のクラス懇談会は保護者が参加しやすいように土曜日に開催しています。</li> <li>・各クラスで撮った日常保育の写真やビデオなどを、クラス懇談会などで鑑賞してもらっています。クラス懇談会終了後には、保護者全員に資料を配付し、欠席した保護者には口頭で内容を伝えています。</li> <li>・年間行事予定表は年度末に配付し、園だよりでも2か月分の予定を知らせています。入園のしおりには大まかな年間行事や保育参加を随時受け付けていることを明記しています。</li> <li>・保育参加週間を設けています。参加できない保護者には都合に応じて受け入れています。</li> <li>・保護者の活動に、要請などがあれば職員も参加する体制があります。保護者それぞれとはコミュニケーションをとっていますが、保護者組織や保護者活動のグループがありません。</li> </ul> <p><b>&lt;工夫している事項&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドキュメンテーションには、活動中のこどもの様子がわかりやすいように、職員が子どもの声に耳を傾け、子どものつぶやきを載せています。</li> </ul> <p><b>&lt;コメント・提言&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、保護者同士が繋がりを持てるよう、保護者活動の支援や場所の提供を検討することが望まれます。</li> </ul>

### 評価領域Ⅲ 地域支援機能



評価分類	評価の理由（コメント）
Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流保育、園庭開放、育児講座などに参加した地域の保護者にはアンケートを実施して、園に対する要望を把握するように努めています。</li> <li>・職員が旭区育児支援イベントに参加し、育児相談を受けています。旭区公立私立保育園園長会や鶴ヶ峰地区子育て支援連絡会などに園長が参加し、地域のニーズを把握して地域における園の役割について検討しています。</li> <li>・育児講座や地域の子育て支援については、子育て支援担当保育士、各リーダー保育士、主任、園長で話し合いをしています。</li> <li>・地域の子育て支援サービスとして、一時保育、交流保育、園庭開放を提供しています。育児講座は年４回、ベビーマッサージ、紙芝居などを行い、2018年には「保健師（看護師）による子育て教室」を実施し、看護師から赤ちゃんの発達、発達の歯のケア、栄養士から離乳食の話をしています。</li> </ul>
Ⅲ－２ 保育所の専門性を生かした相談機能 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の情報は法人ホームページやブログ、園の外掲示板、旭区役所、旭区子育て広場ぽけっとや旭区地域子育て支援拠点ひなたぼっこに提供しています。</li> <li>・定期的に相談日を設けた育児相談は行っていませんが、行事や育児講座などに参加した地域の保護者の育児相談に応じています。</li> <li>・地域子育て支援などのチラシは、旭区こども家庭支援課に置いてもらい、地域子育て支援拠点に配付してもらっています。</li> <li>・旭区こども家庭支援課などの関係機関や地域の団体の連絡先を、ファイルにまとめて職員で共有しています。関係機関などとは園長が主に連携し、情報交換や会議、臨床心理士の巡回相談などで日常的な連携を図っています</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の育児相談については、地域の子育て世帯が利用しやすいように、園の対応を検討することが望まれます。</li> </ul>


### 評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
Ⅳ－１ 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園は地域の自治会に加入しています。</li> <li>・園行事の夏のお祭りなどに、地域の保護者や子ども等を招待し、園見学者や交流保育、育児講座などに参加した地域の保護者や子どもにも案内しています。</li> <li>・食育集会には旭区食生活等改善推進員の人形劇、育児講座では旭区紙芝居ボランティアを招いています。園の隣の畑では、3R 夢農園プロジェクトとして旭区地域振興課の職員と一緒に、さつまいもを栽培しています。</li> <li>・旭区認可保育園等が開催する育児イベント「あさひ子育て・保育園ひろば」、鶴ヶ峰地区ケアプラザで開催する育児講座「親子であそぼう」や「かるがもサロン」に、園長、職員が参加し、パネルシアターや手遊びの提供、育児相談等の子育て支援を行っています。</li> <li>・毎年、仕入れ先の魚屋に来園してもらい、魚解体の見学をしています。幼保小交流事業に参加し、5歳児が近隣の小学校を訪問し交流しています。近隣との友好的な関係を築くために、挨拶をしたり行事の招待状をだしたりしています。</li> <li>・運動会は白根地区センターの体育館で行い、地域の図書館も利用しています。散歩で旭消防署や商店街などの見学をしています。商店街ではクッキングの材料や季節の花を購入し、ハロウィンにはお菓子配りの協力を依頼しています。</li> <li>・旭区ネットワーク事業に参加して、2歳児交流や5歳児交流を行っています。鶴ヶ峰地域ケアプラザで高齢者とふれあい遊びをしています。</li> <li>・自治会の回覧板から地域の情報を得て、園内掲示板に掲示しています。</li> </ul>
Ⅳ－２ 保育所における福	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の情報は、パンフレットや法人ホームページなどで提供しています。園のパンフレットや法人ホームページには、サービス内容の詳細を掲載し、見学時などに料</li> </ul>




<p>祉サービスに関する情報提供  </p>	<p>金や職員体制などの情報提供をしています。          ・利用希望者や見学の問い合わせには園長が対応し、見学ができることを伝えていきます。          ・園見学では、園長がパンフレットに基づいて基本方針や利用条件、保育内容などを説明しています。見学希望者の多い時期は、見学日や受け入れ人数を設定していますが、見学希望者の都合にも対応もしています。</p>
<p>IV-3          ボランティア・実習の受け入れ  </p>	<p>・ボランティアの受け入れについてのマニュアルがあり、全職員が読んで理解するようにしています。運動会の備品搬入搬出や雪かきの手伝いのボランティアの受け入れがあります。          ・ボランティアの内容に応じて関係職員が担当し、受け入れや記録をしています。ボランティア終了後には、感想や意見を聞く場を設けています。          ・「実習生の受け入れについて」のマニュアルがあり、全職員が読んで理解するようにしています。主任が受け入れを担当し、オリエンテーションで保育方針などの説明を行っています。また、注意事項を書面で実習生に配付しています。          ・実習生の希望や目的を把握し、実習内容やクラスを決めています。実習生は毎日クラス担任と反省会を行い、最後に園長や主任なども参加して全体での反省会をしています。受け入れ時の記録は実習生活動記録に整備しています。</p>

## 評価領域V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>V-1          職員の人材育成  </p>	<p>・保育所の運営に必要な人員は園長が把握しており、必要に応じて法人本部と連絡を取り対応しています。運営法人では職階別に必要な知識や経験、業務遂行能力などについての「人材育成計画」を定めています。「人材育成計画」に基づいて、キャリアアップ研修や一般研修など年間を通じた研修計画を作成しています。          ・職員は資質向上の目標を設定し、結果について年2回園長と面談し、評価や次年度の目標について話し合っています。          ・主任が年間を通じて研修計画を立て、全職員が外部研修や希望する研修に参加できるようにしています。          ・園内研修は月1回行っています。実践研修受講者が、クラスでリズムや製作などを実践して保育に生かすとともに、研修内容を伝えています。          ・園長や主任が職員と面談し、研修の効果や他の研修との関係について検討や見直しを行い、次年度の研修計画につなげています。          ・各種の業務マニュアルは事務室に備え付けてあり、非常勤職員なども閲覧できます。また、マニュアルの各項目は、入職時や園内研修、職員会議などで確認し、職員全員に周知しています。          ・保育業務は、クラス担任（常勤職員）と副担任（非常勤職員）の組み合わせで行い、主任、乳児リーダー、幼児リーダーがそれぞれ非常勤職員の担当として、連絡、相談や必要に応じ面談を行っています。          ・非常勤職員も、必要な知識・技能の習得、情報の収集については常勤職員と同様に対応し、勤務形態で研修に参加できない場合は、報告書などで伝えています。</p>
<p>V-2          職員の技術の向上  </p>	<p>・職員は、年2回自己評価を行い、それぞれの課題について職員会議などで話し合い、毎年、保育所としての自己評価を実施しています。          ・旭区公立私立保育園園長会議などで得られた情報や事例から、園に応用できないか話し合っています。横浜市西部地域療育センターの地域支援担当者に来園してもらい、子どもの対応やクラス運営の相談や助言を受けています。          ・指導計画などには評価反省欄があり、ねらいと結果に対する自己評価を行う書式となっています。職員はねらいや具体的目標に沿っていたかどうかや子ども一人一人の成長に応じた関わりや配慮ができているかを自己評価し、結果を記入しています。職員はそれぞれの課題を次期の計画に反映しています。          ・職員は、自己評価の結果をクラスミーティングで話し合っています。話し合った内容をもとに職員会議で検討し、課題を次期の計画に反映しています。園の自己評</p>

	<p>価は、今年度の課題を明記し、課題への取り組み状況から反省や評価を行い、次年度の課題や改善点をあげています。園の自己評価は玄関に掲示しています。</p>
<p>V-3 職員のモチベーションの維持 </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営法人作成の「人材育成計画」に職階ごとに期待される知識、経験、能力が明文化されています。「一般職員・役職者評価表」には人事評価基準が明示され、職員にも周知しています。</li> <li>・主任と園長は「一般職員・役職者評価表」により、年2回職員の自己評価を基に面談し、実績や能力について査定しています。評価については、運営法人が最終調整した結果を、園長から職員に伝えています。</li> <li>・人材育成計画、組織図、職務分掌規程などにより職員の役割と責任が明文化され、職員会議などでも説明するとともに、業務の必要性に応じて権限を委譲し、結果を主任と園長に報告しています。園長は、日ごろからクラス会議などに出席して、職員と話し合い、年2回職員と個別面談を行い要望や意見を聴取しています。</li> </ul> <p>&lt;工夫している事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年、全職員に対して年間指導計画、行事、保護者支援、係など項目を分けた書式による「業務改善アンケート」を実施し、業務改善や効率化に取り組んでいます。</li> </ul>

## 評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>VI-1 経営における社会的責任 </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が順守すべき法律や行動規範は「就業規則」「職員行動指針」「職員心得」に明文化し、入職時研修やオリエンテーションで職員に説明しています。運営法人の経営や運営情報は、ホームページで詳細を公開しています。運営法人から職員に向けた業務への取り組み姿勢や注意事項などの書面は職員も閲覧して、他園の事例のなかで必要なことは職員会議で話し合っています。</li> <li>・事務処理、勘定処理、取引方法やそれらの所管や権限に関する事項は、法人経理規程に明記しています。会計業務などの監査人として税理士に監査を依頼し、外部の会計業務の支援業者と契約し、指導や助言を受け業務運営に生かしています。</li> <li>・横浜市の3R夢プランにしたがって、ゴミの減量化のため残食を肥料として近隣の農家に提供しています。太陽光発電装置を設置し、横浜市のECO保育所の認証を受け、照明器具やエアコンの設定温度などの節電も推進しています。平成30年度の園の自己評価では、今後の課題のひとつとして、生ごみの堆肥化の取り組みをPRしてさらに推進することを挙げています。</li> </ul>
<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等 </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長は、理念方針について職員の理解を促すために、年度初めや会議の際にわかりやすく説明をしています。</li> <li>・重要な事項を決定する場合は、園長が保護者と懇談会で意見交換し、アンケートも実施しています。運動会の実施方法は保護者と継続的に意見交換しています。指導計画や行事などについて、職員がそれぞれの立場で意見を交換し、連携して取り組んでいます。</li> <li>・人材育成計画に基づいて、副主任クラスの職員から上級者研修を実施して、主任となるべき人材を計画的に育成しています。主任は勤務状況全般を管理して、クラスの様子や残業時間を把握し、職員やクラスリーダーに指導や助言をしています。また、業務の負担が偏らないようシフト調整などを行っています。</li> </ul>
<p>VI-3 効率的な運営 </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長は、旭区公立私立保育園園長会などの会議に参加して、地域の情報を集め分析して、運営法人に情報提供しています。園長は、運営法人会議に参加して、必要な情報は会議で報告しています。外部環境の変化に伴い、園運営に必要な人材育成や保育士確保が課題となっています。課題は、職員会議で話し合って共通認識を持ち、職員配置や職員の質の向上を園で取り組んでいます。</li> <li>・法人全体で、平成28年度～令和3年度までの中・長期計画を定めています。園の重点項目として、令和元年度は「ドキュメンテーション・異年齢保育・地域との交流、保護者との関わりや給食への取り組み」を単年度の事業計画として定めています。園では、地域支援の拡充などの保育所運営について検討しています。</li> </ul>

# 利用者家族アンケート

事業所名:オハナ鶴ヶ峰保育園

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

## 結果の特徴

### ◇ 調査対象

調査時点での在園児数 83 名、全保護者69家族を対象とし、回答は50家族からあり、回収率は72%でした。

### ◇ 調査方法

評価機関で準備した「家族アンケート用紙」と返信用封筒を、保育園から保護者に直接渡し、約2週間後までに密封して匿名で保育園で用意した回収箱に入れてもらい、密封のままの状態の評価機関が回収しました。

### ◇ 総合満足度

肯定的な回答は96%(満足56%、どちらかといえば満足40%)と高い評価を得ており、否定的な回答は4%(どちらかといえば不満4%、不満0%)でした。

### ◇ 比較的満足度の高い項目 (「満足、どちらかといえば満足」の合計が95%以上)

- 1)園の基本理念や基本方針について「施設の基本理念や基本方針の認知」では、「よく知っている、まあ知っている」の合計90%
- 2)保育園での1日の過ごし方についての説明には 98%
- 3)クラスの活動や遊びについては(お子さんが満足しているかなど) 96%
- 4)園のおもちゃや教材については 96%
- 5)遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては 96%
- 6)給食の献立内容については 96%
- 7)あなたのお子さんが大切にされているかについては 96%

### ◇ 比較的満足度の低い項目 (「不満、どちらかといえば不満の合計」が15%以上)

- 1)保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には 16%
- 2)送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については 20%



## 調査結果

### ■園の基本理念や基本方針について

施設の基本理念や基本方針の認知	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
	%	18	72	4	6	0



問1で「よく知っている」、「まあ知っている」と回答した方のうち

#### 付問1

理念や方針への賛同	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
	%	76	24	0	0	0

### ■施設のサービス内容について

#### 問2 入園した時の状況

	%	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
		見学の受け入れについては	42	32	4	0	22
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	42	46	2	0	10	0	その他:
園の目標や方針についての説明には	42	52	0	0	6	0	その他:
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	54	38	4	0	4	0	その他:
保育園での1日の過ごし方についての説明には	52	46	0	0	2	0	その他:
費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを含めて)	44	48	4	2	2	0	その他:

#### 問3 保育園に関する年間の計画について

	%	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
		年間の保育や行事についての説明には	34	58	6	0	0
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	22	52	4	2	20	0	その他:

#### 問4 日常の保育内容について

##### 遊びについて

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	66	30	0	2	2	0
	その他:					
子どもが戸外遊びを十分しているか については	68	26	2	4	0	0
	その他:					
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置 いてあるか、年齢にふさわしいかな ど)	72	24	0	0	2	2
	その他:					
自然に触れたり地域に関わるなど の、園外活動については	62	36	0	0	2	0
	その他:					
遊びを通じて友だちや保育者との関 わりが十分もっているかについては	68	26	4	0	2	0
	その他:					
遊びを通じたお子さんの健康づくり への取り組みについては	64	32	2	0	2	0
	その他:					

##### 生活について

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	82	14	0	0	2	2
	その他:					
お子さんが給食を楽しんでいるか については	78	16	0	0	6	0
	その他:					
基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗 いなど)の自立に向けての取り組み については	68	22	0	0	10	0
	その他:					
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じ て対応されているかなどについては	62	26	6	2	4	0
	その他:					
おむつはずしは、家庭と協力し、お 子さんの成長に合わせて柔軟に進め ているかについては	46	26	4	0	24	0
	その他:まだ、始めていない。おむつが外れてから入園した。					
お子さんの体調への気配りについて は	66	24	2	4	4	0
	その他:まだその時期でない					
保育中にあったケガに関する保護者 への説明やその後の対応には	44	34	10	6	6	0
	その他:					

### 問5 保育園の快適さや安全対策について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
施設設備については	46	48	2	0	4	0
	その他:					
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	56	38	6	0	0	0
	その他:					
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	44	50	4	2	0	0
	その他:					
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	62	32	4	2	0	0
	その他:					

### 問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	36	42	10	0	10	2
	その他: 入園したばかりでわからない					
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	62	30	6	0	2	0
	その他:					
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	44	50	4	0	2	0
	その他:					
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	34	38	18	2	8	0
	その他:					
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	42	40	12	0	6	0
	その他:					
保護者からの相談事への対応には	48	40	8	2	2	0
	その他:					
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	44	40	8	2	6	0
	その他:					

**問7 職員の対応について**

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	%	64	32	2	0	2	0
	その他:						
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	%	72	20	6	0	2	0
	その他:						
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	%	50	26	2	0	20	2
	その他:アレルギーがないのでわからない						
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	%	58	28	6	0	8	0
	その他:先生により違いがある						
意見や要望への対応については	%	52	30	14	0	4	0
	その他:意見や要望を言ったことがない						

**問8 保育園の総合的評価**

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答
総合満足度は	%	56	40	4	0	0

# 観察方式による利用者本人調査

令和元年 5 月 28 日・6 月 5 日

事業所名：オハナ鶴ヶ峰保育園

## 【0 歳児】

### <散歩や遊び>

バギー2台に分乗して散歩に出かけます。機嫌がよくなかった子どもも、バギーに乗せてもらうと笑顔になりました。子どもたちは、線路際で電車が通り過ぎるまで見ています。公園に着くと、職員が木陰に敷いたビニールシートにバギーから降ろしてもらい、ハイハイしています。地面に降りてよちよち歩いて、アリや花を見つけては、指をさして保育士に知らせています。一人の子どもは体調が悪かったのか散歩には出かかず、保育士がついて保育室で布団に横になっていました

保育室に戻った子どもたちは、保育士の膝に乗って絵本を見たり、積み木を転がして遊んでいます。立ち上がってやっと歩き出した子どもは、保育士が拍手をして褒めると夢中になって何度も往復します。保育士が「あたま・かた・ひざ・ぽん」を歌い始めると、みんな集まってきて体を動かしています。

### <排泄>

散歩から帰ってそわそわしている子どもを見つけた保育士が、コーナーを仕切り、マットを敷いて子どものオムツを替えています。子どもは気持ちがいいのかご機嫌になりました。

### <授乳・食事>

離乳食はみんな食べています。授乳の子どもが多くいるので、保育士は子どもたちのそばに座り、ほかの子どもの様子も気にしながら抱っこして授乳しています。離乳食は保育士からスプーンで食べさせてもらっています。待てずに泣き出す子どもは、手づかみできる食材をもらって自分で食べています。保育士は「モグモグね」と子どもに声をかけています。

### <午睡>

レースのカーテンを引き照明を落とした部屋で、保育士が2人で子どもの様子を見ています。体をトントンしたり背中をさすったりして眠りに誘っています。眠れない子どもは、保育士が背中に負ぶってゆっくりと歩いているとそのうち眠ってしまいました。保育士は、呼吸の状態を確認したり、横向きになった子どもを仰向きに寝かせたりしながら子どもたちを見守っています。

## 【1歳児】

### <遊び>

子どもたちは、衝立で仕切ったコーナーの丸テーブルの周りに集まっています。積み木やお手玉などそれぞれの玩具を持ち寄って保育士と一緒に遊んでいます。少し離れた場所で気に入った絵本に見入っている子どもや、ご機嫌が斜めで保育士に抱っこされたままで、友達の遊ぶ様子を見ている子どももいます。電車のおもちゃを並べて、目線を電車と同じ高さにするため床にはりついたままの男の子もいて、みんなそれぞれの時間を過ごしています。

### <排泄>

午睡の時間が終わると、保育士は目が覚めた子どもから順番にトイレへ誘導しています。子どもたちは、トイレの前で保育士に手伝ってもらいながらズボンを脱いで用意をします。一人ずつトイレに座り保育士と話をしながら用を済ませ、オムツを取り替えてもらいます。着替えをして検温を済ませても、まだ目が覚めならしく、ちょこんと座ったままで動かない子どももいます。

### <食事>

子どもたちのテーブルには保育士がついています。一人で上手に食べ始める子どもや保育士にスプーンで口まで運んでもらって食べる子どもがいます。ご飯だけ先に食べたり、つついてばかりで食事が進まない子どもに、保育士が「おいしいよ、うま・うま」と声をかけると「ウーン・ウーン」と言って食べ始めます。スープ碗を両手で持って最後まできれいに飲む子どもや、ご飯を手づかみで食べている子ども、お代わりを貰って笑顔の子どもがいます。

### <午睡>

食事の途中から眠くなった子どもがいて、保育士に抱っこされたまま布団に横になって寝てしまいました。ほかの子どもたちは、ベンチに座って保育士に手伝って貰って着替えをして、布団に横になります。レースのカーテンを引いて遮光した部屋で、保育士がゆったりしたテンポで子守歌を歌い、体をトントンしていると、眠くなくてごそごそ動いていた子どもも、みんな寝入ってしまいました。

## 【2歳児】

### <リズム活動>

園長が電子ピアノを弾いて、リズム遊びが始まります。子どもたちは慣れた様子で、保育士と一緒にウサギ、かめなどのポーズをしてキャーキャーと声をあげながらリズムに合わせて動いています。みんなの輪に入らず、お気に入りのおもちゃを持ってウロウロする子どもや手作りの長椅子に座る子どももいます。保育士が「一緒にやろう」と誘いかけても、腕を組んで怒った顔をして自

分の意思を伝えている子どもがいます。保育士は「危ないから座って見てね」と声をかけています。無理にリズム活動に誘うことはありません。二人組になったり、みんなで輪になったりする場面で上手く輪に入れず、無理やり入ろうと子どもに、保育士が「入れてって言うんだよ」と伝えています。子どもたちは、終わりの挨拶をすると園長に抱きつき、褒めてもらっていました。

#### <排泄>

保育士が「お茶を飲んだ人、〇〇先生とトイレ行ってきて」と言うと、子どもたちはそれぞれ、遊びの手を止めてトイレに向かいます。トイレの入り口と中には保育士がつき、声をかけたり、手助けをしています。このオムツでいいの？というように、保育士にオムツをみせる子どもに「それは〇〇ちゃんのだね」と名前を確認しています。自分でできる子どもはトイレ前の長椅子に座り、オムツやズボンをはいています。

#### <食事>

食事のテーブルについて子どもたちは、自分でエプロンを取り出しています。子どもたちは、静かに配膳を待っています。食事は保育士が配膳し、食具も配っています。配膳後に保育士がメニューを伝え、ホワイトボードに豚のイラストを貼りながら「豚肉も入ってるよ」と説明しています。保育士が声をかけて食事が始まりました。子どもたちはスプーンとフォークを使いながら自分で食べています。「おいしー」と言葉にする子どももいます。保育士も一緒にテーブルで「〇〇ちゃんトマトとチーズはこっちに入ってるよ」と話しかけています。食物アレルギーのある子どもは別のテーブルで食べています。配膳は保育士間でも確認し、アレルギーのある子どものそばに保育士が一人ついています。

#### <午睡>

食事前にレースのカーテンを引いたり、布団を出したりして午睡の準備をしています。子どもたちはトイレと着替えを済ませると、布団が敷いてある場所へ移動します。布団の上でいろいろなポーズをとって動き回り眠りそうになった子どもも、静かで適度な明るさに抑えられた部屋で横になっていると、そのうち眠ってしまいました。

### 【3 歳児】

#### <散歩準備>

朝の会が終わり、保育士が「きょうはお散歩にいきます。お茶を飲んでから準備してください」と声をかけると、子どもたちは自分の水筒を取って飲んでいます。お茶を飲んだ子どもたちは、水筒をぶら下げて自分の帽子を被り始めます。「やってー」と保育士に手伝ってもらう子どももいます。子どもたちは自分で上履きを片付けて、保育士からお散歩バッグを受け取り、ぶら下げていま

す。保育士に水筒の長さの調整やお散歩バッグをかけ直してもらっています。中庭の下駄箱から外履きを取り出して、0、1歳児に手を振ってから玄関までいきます。子どもたちは、玄関で保育士に虫よけスプレーをかけてもらい「ほしぐみさん、出発」と、保育士の声で散歩に出かけています。

#### <排泄>

子どもたちは活動の合間などに自分でトイレに行っています。

#### <食事>

食事や食具は一つのテーブルにまとめて準備しています。子どもたちは個人持ちのランチョンマットを敷いて、一人一人取りに行つて自分で配膳しています。「これ、どこ？」と言う子どもに「ここだよ」と友達が教えています。子どもたちは「〇〇ちゃんレタス嫌いなんだって」「私はねー」と自分のことやアニメのことなどを話しながら食べています。主食が食べ終わった子どもは自分でデザートを取りに行き、お代わりは「先生おかわり」と伝えてよそってもらっています。子どもたちは自分で食器を片付けています。器を落とした子どもには、保育士が「大丈夫だよ」と声をかけてすぐに床を拭いていました。

### 【4歳児】

#### <食育活動>

「おだしの飲み比べ」の食育活動が始まっています。昆布、煮干し、かつおぶしが用意されています。最初に材料に触れたあと、液体の入ったコップが配られ、臭いをかいだり飲んでみながら、栄養士からだしについて教えてもらっています。子どもたちは一つ一つに「やだー」「まずい」「臭い」「酔の匂いがする」「にがい」「あたしが好きなにおいがする」「味しない」「おいしい」と感想を言葉にします。何度聞いても、子どもたちは「煮干し」という言葉がでてこないようで「さけ?」「さば?」と知っている魚の名前を言っています。最後に栄養士が2つのだしと味噌を入れて、子どもたちの前で味噌汁を作ります。味噌汁を飲んだ子どもたちは「おいしー」「全部の味がしておいしかった」と言っています。栄養士が「おだしが入って、おみそが入っておいしくなるよ」と言うと、保育士が「みんなと同じで力を合わせているね」と言葉を添えています。

#### <食事>

当番が今日のメニューを紹介して「いただきます」の声かけで食事が始まります。子どもが「ぼくはパンが好きだよ」と言つてパンを細長くちぎつて動物の耳や角のようにして遊びながら食べています。前の席の子どもが「パンだけでなくほかのおかずも食べなさい」と注意します。左手に箸、右手にスプーンを持って「僕はどっちでもできるんだ」とにこにこしながら食べている子どももいます。話に夢中になった子どもの椅子が斜めになると、保育士が椅子を真



っ直ぐに戻しています。先に食べ終わった子どもは、自分で食器を片付け歯磨きに行きます。

## 【5 歳児】

### <散歩>

保育士の注意を聞いた後、二人ずつ手をつないで柵谷公園に向けて出発します。途中の横断歩道では手を上げて左右を見て素早く渡ります。公園に着くと、屈伸運動や柔軟体操をして体をほぐし、保育士から「他園のお友達も来ているので仲良く譲り合って遊ぶように」と話を聞いた後、子どもたちは一斉に思い思いに遊具のある方向へ走り出し、好きな遊具でひとしきり遊ぶと、ドロケイあそびに夢中になります。いつまでもブランコで遊ぶ子どもやシロツメ草を摘んできて手首に巻こうとする子どもがいます。帰り道では、草むらでトカゲを見つけると、みんなで指さして大騒ぎです。園に帰り着くと園庭に回って、栽培している朝顔や稲の様子を観察します。顔をプランターの土にくつつくほど近づけて、雑草を一本ずつ抜いて世話をしている子どもがいます。

### <食事>

子どもたちは順番に自分で、食べられる量を盛付けます。トレイを傾けて皿ごと床にひっくり返した子どもに、そばにいた子どもが「トレイはこうやって持つの」と言って両手で持ってお手本を示します。当番 2 人が前に出て今日のメニューを紹介し「いただきます」の挨拶で食べ始めます。「ご飯には 7 人の神様がいるんだよ」「そうよ、だから残さず食べるのよ」とお互いにしゃべりながら食べています。「ブドウは種をとるのが面倒だから好きじゃない」といっていた子どもも、きれいに食べて残ったへたの部分をつまんで周りの子どもに見せていました。

## 【3～5 歳児】

### <園庭遊び>

3～5 歳児が園庭に出て遊んでいます。砂場ではスコップで容器に砂を詰めて運んだり砂山を作ったりと一生懸命です。かごの形をしたブランコでは、3 人の子どもが乗って一人が押して、後ろには 5、6 人の子どもたちが並んで順番を待っています。子どもたちは斜面を登ったり、下ったりしています。大きな滑り台では突起に手や足をかけて登ったり降りたり、腹ばいになって降りてみたりといつまでも飽きることがありません。バケツやシャベルを持って歩いている子どももいます。バケツに花を摘んでいる子どもや砂場でおままごとをしている子ども、ブランコで遊んでいる 4、5 歳児を羨ましそうに見ている 3 歳の子どももいます。保育士は、子どもたちの様子を見守っていました。

## 令和元年度 第三者評価を受審して

職員間で日々こまめに話し合い、振り返り、改善を心がけていますので、今回の受審はその延長で取り組みました。いつもの振り返りに第三者評価の方が加わってくださったイメージです。

保護者の皆様にはお忙しい中、アンケートのご協力をいただきまして感謝申し上げます。新入園の方には、入園から間もない時期の保護者アンケートでありましたが、ありがとうございます。総合満足度は、満足とどちらかといえば満足の合計が、96%という評価をいただき、あたたかいお言葉とともに、職員一同の励みになりました。

園としての毎年の自己評価の中で、今年度は課題と改善項目として子育て支援の充実を挙げて取り組んでいました。今回の第三者評価では、もう一步具体的な気づきやヒントをいただくことができ、視野が広がりました。改善の工夫が期待されるとして挙げていただいた点に関しても実際に生かし、さらに充実した園を目指したいと思います。

理念「オハナは家族 みんなが居心地の良い場所に」を達成するために、今年度は全職員で研修を行い、どこを見て何のために何をするのか一人ひとり考え、皆でまとめました。「安心して」「笑顔で」「のびのびと」「居心地よく」過ごせるという言葉が多く出てきました。判断基準は子ども。そして、保護者の方も地域の方も職員も安心して居心地よく過ごせるあたたかい園づくりのために、「笑顔と挨拶」を大事にします。今後も全職員で同じ方向を向いて理念や保育目標の達成のために努力をしてまいります。

評価機関の方々には丁寧に調査を進めていただき、情報交換もでき、有意義な時間を持たせていただきました。ありがとうございます。

オハナ鶴ヶ峰保育園  
園長 磯崎貴美恵